

第1回オープンキャンパス開催

7月19日(土)に第1回オープンキャンパスを開催し、姜学長の挨拶にはじまり、在学生による学科紹介、学科別プログラム(模擬講義)、入試制度や特待生制度についての説明、学生との交流会、個別相談会などを実施しました。当日は厳しい暑さにもかかわらず、長崎県内をはじめ、九州各地から多くの高校生や保護者の皆さまにお越しいただきました。



男子卓球部インカレ報告

7月3日から三重県四日市市で開催された『第94回全日本大学総合卓球選手権大会』に九州代表として出場しました。厳しい戦いではありましたが、予選リーグを突破し、初の決勝トーナメントに進出しました。決勝トーナメントでは、立命館大学に惜しくも1-3で敗れ、全国ベスト32という成績になりましたが、今後の課題を得た大会でもあり、次の大会では一つでも多くの勝利をつかめるように努力いたします。

たくさんの方にご支援いただきありがとうございました。



ゲストスピーカーにボベヌ先生!

英語の授業で、鎮西学院高校のホベヌ先生をお迎えし、「アフリカ英語とその文化」と題して、大陸に広がる豊かな言語的・文化的多様性について、興味深い講義をしていただきました。

アフリカの様々な国で話されている英語のそれぞれの特徴についてや、アフリカ大陸の多様な言語が英語にどのような影響を与えているのかについて話をされました。

また、ホベヌ先生は「自分の話す言語に自信を持つこと。言語学習過程において、間違いをすることはあたりまえの、かつ大切な過程である」という大切なメッセージを学生たちに贈りました。

先生の言葉は学生たちの心に深く響き、多くの学生が、よりオープンに、自信を持って英語を話そうという新たなモチベーションになりました。

お忙しい中、本学にお越しいただき、知識、情熱、そして前向きなメッセージを共有してくださったホベヌ先生に心より感謝申し上げます。



精神科ソーシャルワーク実習指導

精神保健福祉士を目指す学生達は、例年8月から10月にかけて、精神科医療機関と障害福祉サービス事業所で精神科ソーシャルワーク実習を行います。それに先立ち支援現場で働いている卒業生や現場職員を招いて、「実りある実習に向けて心がけておくべきことは何か」の講義をして頂いた。具体的なアドバイスに感銘を受けた学生たちからは、「学び続けることをやめることなく、利用者の隣に一緒に走っていきける精神保健福祉士になりたい」、「今後の実習に関しても、私自身の経験にできるよう、一生懸命悩み、相談し、吸収していこう」という声寄せられた。

ウェルカム社瑞穂の稲田先生、みらいの橋本先生ご指導ありがとうございました。



西海市議会議員トップ当選! 若きリーダーが語る、地域と政治への想い!

今年4月に行われた西海市議会議員選挙においてトップ当選を果たした浅川容行さんは、経済政策学科の卒業生。6月4日(水)母校である本学に凱旋し、講演を実施。

浅川さんは、本学経済政策学科を卒業後、ヒルトン長崎などを経て、今春、最年少候補として市議会議員選挙に立候補。多くの市民の支持を集め、トップ当選という快挙を達成。大学時代は留学も経験し、国際的な視点を持ちながら、日本の地域社会が抱える課題にも強い関心をもっていた。また、ジャズアンサンブル部や地域連携活動にも熱心に取り組み、学生時代から地域課題に関心を寄せていたとのこと。

講演では、立候補に至るまでの経緯、選挙活動の裏側、SNSを活用した情報発信、市民との対話を重ねる中で得た気づきなど、そして「留学経験が自分に与えた影響」についても赤裸々に語っていただいた。

浅川さんの姿は、まさに「学びを地域に還元する」本学の教育理念を体現するものであり、学生たちにとって、学びとキャリアのつながりを強く実感する機会となった。

